



東京多摩プロバスニュース

第 72 号

■事務局: 〒206-0034 東京都多摩市鶴牧 5-29-10 平田方 ■編集・発行: 広報委員会 2017. 5. 10.

■電話・FAX (042) 338-7022 ■URL: <http://www.tokyo-tama-probusclub.com>

豊かなキャリアをこの街に活かそう！

第 13 期 臨時総会、第 153 回 定例会

日 時 : 平成 29 年 3 月 1 日(水)午後 1 時 30 分より

場 所 : 関戸公民館第 2 学習室

出席者 : 27 名(会員数 34 名)

第 154 回 定例会

日 時 : 平成 29 年 4 月 5 日(水)午後 1 時 30 分より

場 所 : 関戸公民館第 2 学習室

出席者 : 26 名(会員数 34 名)

理 念

1. 豊かな人生経験を生かし地域社会に奉仕する
2. 活力ある高齢社会を創造する
3. 会員同士の交流と意欲の向上をはかる
4. 非政治的、非宗教的、非営利的であることとする



ごあいさつ



健幸まちづくりは絆から

秋山正仁研修・親睦委員長

平成 26 年 5 月、東京多摩プロバスクラブの会員となり、早 3 年経過致しました。会員の平均年齢 78 歳とか、私と同じです。これもひとえに健幸(健康で幸せ)であればこそだと毎日感謝でいっぱいです。

聞くところによると、私の故郷山梨県は住んでみたい県 1 位、健康長寿年齢男女ともに、全国で 1 位です。何故? 空気よし・水よし・コミュニティよしだそうです。特に無尽会が各地で活発であり、残業より優先してくるようです。

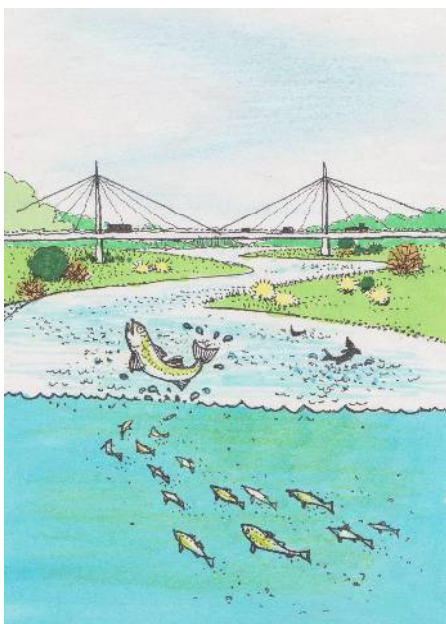
6 年前の東日本大震災、1 年前の熊本地震のあと生き甲



斐についての世論調査によると、絆が一番だということです。親子・兄弟・従兄弟会、同級・同窓・県人会・各 OB 会・サークル等に参加することで、健康で幸せを実感できるとの事です。多摩市の健康寿命も男女とも都内 26 市中 1 位です。何故? 緑が多い・空気よし・階段多く起伏あり・コミュニティも 26 市中第 1 位。一方、4 月定例会での 80 歳以上の 5 名の先輩会員の健幸についてのミニ卓話通り、健康で幸せを勝ち取っている一人一人に尊敬の念でいっぱいです。84 歳の先輩会員は、出来るだけ歩く。中でもバス停より 5 階の玄関まで 114 段の階段を歩くことが健康の源だと。またある女性会員は階段を見たら“葉”だと思えと。

多摩市ではすべての部署が健幸まちづくりを担当するとの事です。その一例かと思いますが、今年 8 月 31 日(木)AM6:00 より宝野公園にて、NHK ラジオ第一でラジオ体操の全国生放送が計画されております。

私の今は健幸そのものと思っておりますが、22 歳で肺結核、20 年前は大腸癌、胃癌、食道癌と次々に全快したのも、良き先輩方が具体的に激励して下さいたからだと思っております。“①よく眠る ②よく歩く ③怒らない ④食べ・飲みすぎない”と。



「多摩プロバスかるた」の原画 “鮎跳ねて多摩の流れに水温む” 山田正司会員

◆◆◆ 臨時総会・幹事・委員会報告 ◆◆◆

1. 臨時総会

3月1日(水)、臨時総会が開催され、会則第8条の会長、副会長、会計、委員長の選任に関する一部改定案が上程され、賛成多数で承認された。

2. 幹事報告

上田清幹事

2.1. 3月22日及び29日、次期の理事候補者の選任について理事会で検討し、候補者の同意を得て「選任理事・監査案」を決定して、同案を4月定例会で報告した。

2.2. 4月12日、次期委員会の委員を選任するための「ドラフト会議」を開催し、クラブ運営の体制づくりを行った。

2.3. 4月12日のドラフト会議終了後、合同理事会メンバーで14期定期総会に向けた議案書づくりの検討を行った。

2.4. 八王子PCから5月11日開催の生涯学習サロン閉講式の案内があり、倉賀野会長、秋山、稲田、北村、滝川(益)各会員の5名が参加の予定である。

3. 委員会報告

3.1. 総務委員会

大澤亘委員長

1) 第153回定例会

・小池博会員による卓話「電気はとっても切りにくい」を実施。
関連記事下記参照

2) 第154回定例会

・4年前の座談会「長寿の秘訣」以降に80歳代になった6名のうち増山会員を除く倉賀野、鈴木(達)、村上、山田、大澤の5会員による今年度第2回目のミニ卓話「長寿の秘訣Part II」を実施。
関連記事P3参照

3) 今後の卓話予定

・第155回定例会(5月)高村弘毅会員による「多摩の湧水

散策」。なお当日は昼食付定例会(三笠会館聖せき亭)として実施する予定。

・第156回定例会(6月)澤雄二会員によるテーマ「目指せ10万人!訪日客招致大作戦」。

3.2. 研修・親睦委員会

秋山正仁委員長

1) 3月30日(木)お花見会、21名の参加。乞田川沿いの花見ウオーキング、好天に恵まれ二分咲も満開を思いつつ楽しい会でした。多謝! この時の俳句・川柳の力作は5月定例会で発表の予定。
関連記事P4参照

2) 一泊研修旅行

①日程: 6月21日(水)~22日(木)。

②鎌倉プロバスクラブとの交流と一泊研修旅行。

③参加予定者20名。

3.3. 地域奉仕委員会

村上伸茲委員長

1) 3月9日、滝川道子会員が八王子PC生涯学習サロンの江戸しぐさ講座で講演。

2) 多摩市内湧水、河川の水質調査について。

①3月1日、多摩市内の湧水池、大栗川、乞田川の源泉について、高村会員を講師に委員会の学習会を実施。

②4月5日、クラブ会員による現地調査のコースを、委員会で決定。大谷戸公園の蛍の池、旧農業大学校の小川源流、谷戸田んぼ、湧水公園に至る行程。所要約2時間。

③4月12日、委員会メンバーで調査行程の下見を実施。

3.4. 広報委員会

登坂征一郎委員長

1) プロバスニュース第72号を5月10日(水)に発行・配布。

2) ホームページ更新公開を5月20日予定。

◆◆◆ 卓 話 ◆◆◆

電気はとっても切りにくい

小池博会員

古代から人間の傍に静電気として存在していた電気ですが、その活用は18世紀にボルタが電池発明まで待たなくてはなりません。これがその後大発展して今は電気無しでは生活できないのはご承知のとおりです。電気はまことに便利なものですが使い方を誤ったり、ショートさせたりすると大電流が流れ、火災の原因になり甚大な被害をもたらします。この事故時発生する大電流を遮断して事故を最小限に抑えるのが遮断器です。

入社試験の口頭試問で「君は入社後何をやりたいの?」と聞かれ、何も考えていなかった私が苦し紛れに遮断器をやりたいと答えたのが縁で遮断器開発の道を進むことになりました。

電気を切る道具としての遮断器の原理としては油の中で切る油遮断器、高圧の空気を吹き付けて切る空気遮断器、アークを磁気で引き延ばして切る磁気遮断器などいろいろありますが夫々欠点があり、使い勝手の悪いものでした。

そこに登場したのがアークを真空中で切る真空遮断器で



す。19世紀にイギリスで特許が取られていたのですが当時は真空にする技術、真空を測定する技術、金属を精錬する技術が追いつかず、原理のみの特許で実用化の研究は第二次大戦後のアメリカからでした。

しかし電気を切る性能が強すぎてモーターやトランスを壊してしまうという事故が頻発して、まずアメリカが主力製品にするのをあきらめました。アメリカより少し遅れて開発をスタートした日本は持ち前の粘り腰でひとつずつ問題を解決しながら実用化していましたが、どうしても越えられないハードルが四万アンペア以上の電流を切るという技術の壁でした。ヨーロッパはこの壁を越えられず、米国同様あきらめていました。

この性能向上を必死に追及していた我々のもとに現れたのが真空遮断に異常なくらい情熱を持つ若き技術者です。彼は会社から派遣された英国の大学でアークを観測しながらいろいろなタイプの接点の性能が観測出来る装置を開発して研究していました。そこでアークと同じ方向に強力な磁界をかけると電流遮断性能が飛躍的に向上することを発見して、ついには11万アンペアまでの遮断に成功しました。この結果に驚いた業界は真空遮断器がこれからの遮断器に

◆◆◆ 卓 話(つづき) ◆◆◆

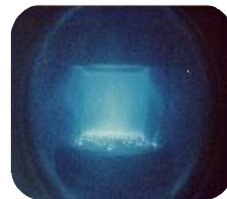
なると考えはじめ現在では中圧(3千ボルトから6万ボルトまで)の遮断器は全て真空遮断器になっています。

この優れた遮断器も開発当時は技術的知名度がなかったため、これを世界に広めようと仲間とともに世界中を飛び回り(23か国)、技術説明講演、技術提携、製品の売り込み、製品開発の技術指導を拙い英語でやらせてもらいました。

この様に技術的ハードルを仲間と協力し合って越えた事、そして海外で仕事をしていた父の背中を見て育ち、何とし



強力な磁場を発生
する接点の構造



強力な磁場で制御さ
れた接点間のアーーク

ても海外に行きたいという思いを抱えていた私にとっての海外活動等は、まことに幸せな経験で技術屋人生悔いなしと思いつつ余生を過ごしているのが今の私です。

◆◆◆ ミニ卓話 ◆◆◆

高齢化が進んできておりますが、我がクラブでは健康年齢を凌駕しまさに八十路を超えた5名の会員の方々に、「長寿の秘訣 Part II」と題して、4月定例会にてその秘訣を御披露いただきました。

1. 倉賀野武士会員

80歳を過ぎた今、子供の時に感じた賢人にはなれそうにもありません。新進気鋭の脳科学者中野信子さんによれば「人のために何かをすることで脳より長寿ホルモンが分泌される」とのことです。まさしくプロバスクラブの活動そのものが長寿の素ではないでしょうか。会社人間から67歳で完全にフリーとなった途端に、今日行くところ今日する用事がなく正直もがいた期間がありました。



幸い人から人への紹介で現在はプロバスクラブの他にボランティア、スポーツ等、週3回の太極拳から年数回の陶芸まで15に近い団体、サークルに所属し、毎日忙しく過ごしています。間口ばかり広く奥行きが狭いのでどれも物になっていません。利点は早く気分転換を図れることです。

最近漫画家の弘兼憲史氏が書かれた、私の3か条
①問題に直面したらそのまま受け入れる(まあいいか)
②心を立て直して「居直りを大切に」(それがどうした!)
③自分の身の丈に合った人生を送る(人それぞれ)。
を生き方の参考にしています。

2. 鈴木達夫会員

2015年の日本の平均寿命は男性が80.75歳、女性は86.99歳となり、過去最高を更新した。厚生省の調査では主要7カ国(G7)などと比べて男女とも最も高い。



「健康でありたい」と希望は誰しも持っている。ラジオ体操とウォーキング(一日約1万歩目標)を15年続けたが、80歳を迎えた年に、リュウマチ性多発性筋痛症を患い、激しい関節痛の痛みは肩・頸部・臀部へと出現し、現在も治療を継続中で痛みは収まっている。冬期は体を温めるように温浴施設を利用し、食事は好き嫌いのなく野菜を多く取り、足腰を鍛える適度の運動を行い、メリハリのある毎日を過ごしたいものである。

3. 山田正司会員

育った環境や時代によって、人は思わぬ勘違いをしてしまうものです。私は戦後間もない少年の頃、サッカーに夢中になり、当時水分補給の習慣など無い中で、ひたすら耐え

て鍛えられました。そのまま大人となり体力だけは自信をもって過ごし、72歳の時にテニスのプレイ中に急性心筋梗塞を患い、危うく一命をとりとめましたが、習慣的な水分不足が大きな要因の一つと指摘されました。



以来、食事も含めて生活スタイルを一変させ今の健康を取り戻しました。今年4月の「多摩広報」で多摩市の65歳健康寿命が都内26市中、女性が1位、男性が2位との誇らしい記事がありました。思うに、多摩丘陵の高低差のある立地や、エレベーターなし団地の階段で鍛えられている住環境の影響が大きいのではと考えます。このわが街のすばらしさが勘違いでないことを願って止みません。

4. 大澤亘会員

自分は健康のために1日1万歩歩くとか毎朝ラジオ体操をするなどは全く苦手で、できるときにできることをするだけである。具体的には第一に主治医のところで血液検査を毎月行い、体重も測る。体重が増えると怒られるので毎月の診察予約日が近づくとも体重の現状維持に苦労する。第二に血圧は毎朝自分で測る。これらの結果に応じて色々の薬が処方され、また体内の異変をできるだけ早くキャッチする。第三はなるべく乗物を使わず歩く。多摩市は起伏のある地形で坂道や階段が多いので転ばないことにも注意を払う。自宅がエレベーターのない5階建ての集合住宅の5階で、自分の号棟の階段を61段、バスを使うとバス停から構内までさらに53段、合計114段の階段を上らないと自宅のドアの前に立てないので、結果的に健康維持に役立っているはずと自らを慰めている。



5. 村上伸茲会員

アメリカで50年以上の臨床経験のあるアンチエイジング医療の第一人者が薦めるのが『健康に長生きするカギ』は『免疫力を高める』ことと言う。免疫機構は、NK細胞と好中球により、侵入してきた外敵から体を守るよう作られた白血球の特殊部隊であり、最大限に機能することで、より健康に回復も早く、活力を得ることができると言う。



お花見会

秋山正仁研修・親睦委員長

今年は天候儘ならぬ3月30日(木)に21名の参加を得て、乞田川沿いを永山から歩きました。生憎桜は二分咲きおまけに寒く、記事に思い倦んでいたところ、阪東熙子会員より寄稿があり、渡りに船と下記に報告させてもらいました。

(以下、文責は阪東熙子会員)

準備万端弥生の晦日、春の日差しの頼むぞと、内心ハラハラ今年の花見。サテと出で立つ乞田川、二分咲きとて顔上げず、ひたすら歩き「かごの屋」へ。挨拶会長、乾杯音頭岡野会員、疲れた仲間を解そうと、秋山委員長の酌して回る。温かい蛤お清汁干す頃は、多弁の花の咲き乱れ、宴酣の一安心。味良いばら鮎木の芽の香乗せ、葛餅黒蜜きな粉に小豆、抹茶アイスと山盛り甘味。女・子供じゃないわいと、又候気遣い秋山委員長デカンター持



って一回り。お開き挨拶ざわつき鎮め、終り良ければ総てよし、花より団子の親睦達成。

出前授業「そろばん教室」を終えて

古澤靖雄会員

今年度は教育改革の一端がみえ、そろばん学習が1時限増えて、3時限となった。そろばん学習が重要視されてきたと感じている。それに応えるように学校側も担当窓口を学年担当とされ、積極的な姿勢が窺え、打ち合わせの席では、学校側から活発な意見を聞くことができた。

対象校4校について記述したい。

OD小学校は、「そろばん教室」を12年前から長きにわたって授業を受け持った。それだけに冒頭の改革に対応した取り組み姿勢の変化が如実に感じた。学年担任が中心に、考え方を強く示してきた。朝一番の授業になったこともその表れかもしれない。

OR小学校は、9月上旬アプローチした時、いち早く授業を受け持つことが決まった。打合せの時学年担任から3時限の話が聞かれ、積極的な態度や要望事項を示され、今思えば冒頭の改革路線の流れと思わざるを得ない。

OH小学校は、「そろばん教室」を初めて受け持つことになり、以前からアプローチしていたが、今思えば冒頭に記述した流れに沿ったものと思われた。学年担当から3時限の依頼があった。

当クラブのパンフレットを説明し、その中の「多摩プロバスかるた」に注目されたので贈呈した。

OU小学校は、2月になって学年担当から直接電話での要請で受け持った。3時限や要望事項の話があった。

以上の一連の流れから課題は見えたと、解決策にどう応えるかこの一年が思い遣られる。

歌を楽しむ会

中村昭夫会員

毎月1回(最近3月17日、4月21日に開催)、メンバー有志による「歌を楽しむ会」を開催してます。歌の選曲は私が担当し伴奏は音楽ソフトを使ってそれぞれの曲に伴奏をつけている。今までやった歌は歌謡曲やフォークソングが多いが、出席者が大変気に入ってくれた歌、「恋の街札幌」、「時代おくれ」、「サボテンの花」なども増えてきているのは私にとって嬉しいことです。これからはハーモニーを付けた歌の練習も取り入れてゆきたいと思っています。

メンバーが歌を楽しむだけでなく、練習の成果を発表する機会を作って行きたいと思っています。やはりメンバーとしては、皆さんに聞いていただき、ご好評をいただければやり甲斐もさらに増えてくるのではないかと。そのようなことからあるメンバーから当クラブの15周年式典に出演してはとの提案も出され、皆の賛成を得てからそれに向かってこれからの練習に励みたいと思います。

リズムに合わせて声を出して歌うと言うことは、脳を刺激し活性化に役立ち老化防止に大いに効果があります。未だ参加していない会員の方々のご参加を心からお待ちしています。



会員活動



「旧多摩聖蹟記念館」とは

堀内陽二会員

本年3月18日つむぎ館で「旧多摩聖蹟記念館って何?」という芳野貴典氏(多摩市教育委員会・旧多摩聖蹟記念館専門員)によるセミナーが開催されました。先ずもって『聖蹟』とは天皇が訪れた場所のことから始まり、多摩市においては明治天皇が兎狩りや鮎漁などで4回程多摩の地を訪れた。そのことを知った田中光顕(幕末から明治にかけ最後の志士とも呼ばれ、のち宮内大臣をも務めた)が、明治天皇顕彰施設として多摩聖蹟記念館を昭和5年に建設し開館した。

その後年月が経つにつれ老朽化し閉館余儀なしとなった。そこで多摩市では建物を貴重な文化財として引き継ぎ、改修後改めて管理運営することとなり、昭和61年多摩市指定有形文化財として管理者も運営目的も変わった。これにより「もと」多摩聖蹟記念館だった建物と言う意味で名称も「旧多摩聖蹟記念館」となった等々、その他それに纏わる数々の歴史解説が行われた。



旧聖蹟記念館全景(緑豊かな都立桜ヶ丘公園中央に位置)

台湾に日本人の足跡を訪ねて(1) 稲田興会員

第133回定例会時「台湾の偉人“八田與一”」をテーマに卓話を行った際、日本の台湾統治時代に台湾の近代化に貢献した日本人の名を挙げたが、それらの人々の足跡を自分の目で確かめたいと思い立ち、2016年11月一週間の予定を組んだ。訪ねたのは、台南で八田與一と杉浦茂峰、嘉義で森川清次郎、台北で六氏先生(6名の教師)の4か所。彼らは皆台湾に命を捧げた人たちであり、現在の台湾で語り継がれ、尊敬されている日本人である。

この旅では、日本人ではないが三蔵法師の舍利や張學良の軟禁場所なども捜しながら、新幹線とタクシーを駆使して走り回り、狙い通りの目的を達成することが出来た。

それらの中からまず、台湾で神様として祀られ、今でも崇拝されている二人の日本人を紹介したい。

◇一人目は森川清次郎巡查(1861 - 1902)である。

嘉義駅から車で20分程の東石郷副瀨村にある富安宮を訪ねた。ここに義愛公として他の神々と合祀されている。

○事の成り行きは次のようである。

横浜で生まれた森川氏は警察官だったが、台湾が日本の統治下になったのをきっかけに渡台(当時36歳)し、嘉義県の派出所勤務となった。

劣悪な治安情勢の中、粉骨砕身の思いで任務を続ける傍ら、寺子屋を開き、日本より教科書を取り寄せて住民に読み書きを指導する一方、衛生教育にも熱心であった。こうしたことから、近隣住民からは「大人(たいじん)」と慕われるようになっていた。

40歳の頃台湾総督府が漁業税を新たに制定、漁業中心の貧しい暮らしをしていた副瀨村は立ち行かなくなり、村民は税の減免を森川巡查へ嘆願した。これを聞き入れ、嘉義庁東石港支庁へ赴き、減税を求めたが、当時の支庁長は、

住民を扇動し、謀反を起こそうとしているとして要請を跳ね除けた上、森川巡查を訓戒処分処し徴税を重ねて命じた。板挟みになった森川巡查は所持していた村田銃の引き金に足の指をかけて、頭部を打ち抜き自殺(享年42歳)。

死後20年ほどして副瀨村近隣にコレラ脳炎などの伝染病が流行した。当時村長であった李九は、夢枕に森川巡查が立ち「飲食に注意し、生水、生ものを口にせぬこと」というお告げの内容を村民に告げた。村民がこれを守ったところ、伝染病の流行がぱたりと止んだ。これは生前の森川氏が衛生に特に熱心であった影響だと判断し、「義愛公」の

尊称をつけられた森川氏の御神体が造られ、長く愛されるようになった。地元での信仰は篤く、私がお参りしている間にも、近所の親子と思しき3組の参拝者が見られた。

一方、余談だが、昭和6年の全国中学校優勝野球大会(甲子園)で準優勝した学校が近くにあった。

嘉義農林学校(現在嘉義大学)であるが、2014年「KANO～1931海の向こうの甲子園～」という映画が作成され、翌年日本でも上映された。

◇二人目は杉浦茂峰飛行士(1923- 1944)である。

台南駅前からタクシーを駆って15分程、市内同安路にある鎮安堂飛虎將軍廟を訪ねた。ここに飛虎將軍として祀られている。



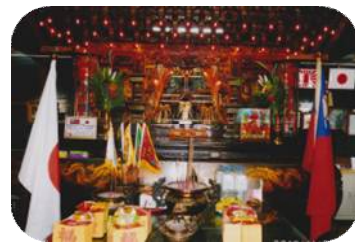
○事の経緯は次のようである。

昭和19年10月12日台湾に配属されていた日本海軍の杉浦茂峰兵曹長(戦死後に少尉昇進)は零戦に搭乗して台湾沖航空戦に出撃。台南上空で米軍機を迎え撃つも撃墜され、落下傘降下中を機銃掃射されて戦死(享年21歳)。

第二次世界大戦後しばらくして、村のあちこちで不思議な夢を見たという噂が広まった。白い帽子と服を着た日本の若い海軍軍人が枕元に立っているという夢を見たという者が数人名乗りでた。その海軍軍人が杉浦であり、集落への墜落を避けるため被弾した乗機を操縦して郊外まで飛び、そのために脱出が遅れて戦死したことが判明。自分の生命を犠牲にして村人を救った杉浦を祀るため昭和46年落下地点に飛虎將軍という諡をし、鎮安堂という廟を建設した。

この管理人は流暢な日本語で「このお寺は杉浦氏一人だけの廟で、他の寺院とは全く違うんだ」と自慢げに説明してくれた(確かに他の道教寺院は関羽や媽祖などを中心に沢山の神様を合祀している)。現在は朝夕2回、煙草に点火して神像と写真に捧げ、日本の国歌「君が代」、午後には「海ゆかば」を歌って霊を慰めているという。

一方、杉浦氏は水戸の出身であり、飛虎將軍廟から茨城県の護国神社に分祀しようという計画もあるという。



◇◇◇ 我が故郷 ◇◇◇

「私のふるさと」

岡野一馬会員

私の「ふるさと」は尾道である。此处で生まれ、旧制中学まで過し、横浜に出てきた。両親は茨城・水戸の出身で、父が尾道で働いているとき、母が嫁いできた。関東大震災のとき被災した横浜の繊維工場の機械を買い取り、先輩に紹介された尾道の資産家と協同で紡績の事業を始めたらしい。24～5歳の時と言う。



尾道市千光寺公園より尾道水道を望む

私は生まれも育ちも尾道だが、土地の仲間からは東京者(もの)として扱われ、最後まで土地っ子とは認めてくれなかった。私の兄弟は4人だが、尾道には誰も住んでいないし、現在、小・中学校時代の友人以外、知人はいない。

当時の尾道は人口5万人たらずの山を背にした海岸沿いの細長い町だったが、今では近郊の町村と合併し30万人余の瀬戸内海有数の都市となったと聞く。

もうしばらく尾道へ行っていない。唯一の接触点だった旧制尾道中学の同期会も、皆高齢となり今年解散した。故郷は遠くなり消えてゆく。

幸い私は多摩という新しい故里ができています。海が見えないのは少々残念だが、山や川に囲まれた恵まれた環境である。それに、素敵な仲間も沢山できた。

あと少々。一世紀は頑張ろう。

新しい故里の風景(岡野会員画)



◇◇◇ ハッピーバースデー ◇◇◇

3月誕生日を迎えられ
ました！

4月誕生日を迎えられ
ました！



左から 岡野一馬・小西加葉子
平田哲郎会員



左から 澤雄二・大澤巨
神谷真一会員

◇◇◇ 編集後記 ◇◇◇

不順な天候続きの今、赧顔頻りだ。人間に存在をアピールしていた桜の大きさが葉桜となり緑を増して輝いてきた。晴れ渡った青空の下、屋根より高い鯉のぼり、大きな真鯉はお父さん・と歌にある五月の鯉の吹き流しが、此の頃目にしなくなった。幼い心の目に映った体験の数が多いほど感性豊かな人に育つという。子の成長を、周囲の人々と共に見守る意味の鯉のぼりは、屋外で昔ははためいていた。

高浜虚子の句に、「風吹けば来るや隣の鯉のぼり」とある。情景はほほえましい。さて、72号。ミニ卓話は、語り手・聞き手何時になく張り切り質疑応答盛んで成功した。地域奉仕活動のそろばんでは、子どもへの並々ならぬ愛がなければ続かぬと感服。歌を楽しむでは、聞かせたいという目標あるやに伺い期待高まる。寄稿台湾の稿では、思い立ったが吉日と行動力ある姿に魅せられ一気に拝読。良かれとした事が裏目に出て村田銃で自殺した巡査。少しでも村の人災少なくしようと自ら機銃掃射の的となった飛行士。昔の日本人は他人のために生きる覚悟があり立派だった。真似できぬ。来し方の月日より行く末の月日の方が短い。せめて一刻一刻を充実させて過ごしたい。

立夏も過ぎた川端でも散策し、燕の姿をいち早く見つけよう。花粉症の心配も薄れてきたことだし。

(広報委員 阪東照子会員記)

◇◇東京多摩プロバソング ◇◇◇

作詞 池田 寛
作曲 中村 昭夫

聖の桜仰ぎつつ 多摩の流れに身を清めて
緑の杜に囲まれた 我が故郷の行く末と
社会奉仕に力をそそぐ

集う我等プロバスクラブ
プロバス プロバス 多摩プロバスクラブ

霊峰富士を仰ぎつつ 心の業を磨き合い
豊かな知識身につけて 次の世代の若人の
教え導く糧となる

集う我等プロバスクラブ
プロバス プロバス 多摩プロバスクラブ